

学校通信

あわやっこ

学校教育目標 “夢や目標の実現に向かってねばり強く歩み続ける児童の育成”

1月8日 雪の降った日 子どもたちがつくった雪だるま



大寒を過ぎ、寒さも一段と厳しくなっています。

そんななか、子どもたちは、毎週火曜日、木曜日、金曜日週3回、大休憩に「5分間走」に取り組んでいます。「がんばり表」をもとに、三次市内を走りきることを第1目標に、走りきれた子どもは、三次市から広島市内までどこまで走れるか、各自が目標を持って取り組んでいます。現在、栗屋小学校を出発し、安芸高田市役所付近を通過、土師ダム近辺まであと少しというところまで達している子どももいます。縄跳びでも、いろいろな跳び方に意欲的に取り組んでいる子どももおり、健康のもととなる体力づくりにがんばっている子どもたちです。

道徳科授業参観

学校のあり方に関する基本方針(素案)説明・意見交換

ご参加ありがとうございました！

1月22日(水)には、おいそがしいなか、道徳科授業参観及び「小中学校のあり方に関する基本方針(素案)について説明・意見交換」にご参加いただき、ありがとうございました。

道徳科の授業では、それぞれの学年が、道徳的な価値について、自分の考えを友達とも交流しながら高め合っている様子を感じ取っていただけたのではないかと思います。日常生活のなかにある様々な「道徳」に気づき、自己の行

動を振り返り、よりよい行動につながる学びにしていきたいと考えています。子どもですから、「失敗」は当たり前。自己の言動を素直に振り返らせ、改善点に気づかせる働きかけを周りの大人がやっていきたいものです。



1・2年生

3・4年生



5・6年生



「『夢を持って』と言われ続けて17年

『現実見ろ』と言われる面談」高校3年生

「無茶言うな高校までは出るな杭

大学からは杭よ過過ぎろ」大学4年生

～第38回現代学生百人一首(東洋大学)より～

夢を持つこと、個性を磨くこと、一生大切にしたいことです。「ドリームキラー」になる可能性があるのは、わたしたち大人であることを自覚し、子どもの行動を「同意」ではなく『理解』し、「結果」ではなく『変化』を認め、「期待」しすぎず、『応援』し続ける大人でありたいです。